

令和4年度(令和3年度分)

定期監査結果報告書

(工事監査)

令和4年11月30日

篠栗町監査委員

目 次

監査の概要	1
監査の結果	2
第1 全般	2
第2 意見	3
〔共通事項〕	3
〔各課〕	4
1. 健 康 課	4
2. 社 会 教 育 課	5
3. 都 市 整 備 課	7
4. 上 下 水 道 課	9
5. 福 祉 課	13
6. 産 業 観 光 課	14
7. 学 校 教 育 課	16

監査の概要

1 監査等の目的

篠栗町監査基準の規定により、事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか監査することを目的とする。

2 監査等の種類

定期工事監査（財務監査、行政監査）

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項に基づく監査

3 監査等の対象

(1) 担当課が令和3年度に執行した工事全般から抽出した17件

(2) 監査対象の課

健康課 社会教育課 産業観光課 都市整備課 上下水道課 福祉課 学校教育課

4 監査等の着眼点

(1) 対象事務事業の有効性

(2) 合法性・効率性・適確性から見た執行

5 監査等の実施内容

各担当課に300万円以上の工事の箇所別調書を提出させた。内訳は、健康課1件、社会教育課2件、上下水道課8件、都市整備課13件、学校教育課5件、福祉課1件、産業観光課3件、総務課1件で合計34件である。

このうち、工事額・変更額・請負業者・工事内容などを考慮して、17件（健康課1件、社会教育課2件、上下水道課4件、都市整備課3件、学校教育課3件、福祉課1件、産業観光課3件）を抽出して工事関連資料の提出を求め、この資料の精査及び現地調査を実施した。

6 監査等の実施期間

令和4年4月27日 ～ 5月31日（現地調査は5月20日）

7 監査等の結果

2ページ以降に掲載

監査の結果

第1. 全般

(意見)

(1) 計画

全般的に必要な性に基づく有効な計画で工事が行われている。

(2) 設計変更等

34件中増額変更は14件(変更契約率41.2%)と低率となっており、事前調査や厳格な設計に基づく工事が行われたものと評価する。(変更率 H29年94.7% H30年58.3% R1年81.3% R2年37.8%)

増額変更率が20%を超える工事は1件であるが、増額変更は新たな予算の確保が必要となり、財政ひっ迫の要因となるので、変更をせずに済むよう今後も入念な事前調査や厳格な設計を望む。

施工中に気象状況や地下の土壌や岩盤の出現等予期せぬ事態も起こりうるので、必要な契約変更は適格に、また、適期に行うように努められたい。

第2 意見

〔共通事項〕

1 工事の業務支援、実施体制の見直し（財政課、総務課）

入札により工事の請負契約の相手方を決める場合は、財政課が入札、契約、検査を行い、また、各課は設計や工事の執行、監理を行っている。

一方、入札によらずに随意契約を採る場合は、担当課がすべての業務を行っている。

しかし、課によっては、契約事務に慣れていない、又は、建設技術の知識が充分とは言えない事務系職員が担当していることがある。この場合、設計や施工の管理等が充分になされていない可能性がある。

今年度、財産活用課が新設され、工事の設計、施工について、令和4年度から効率的でより良い成果が得られるものと期待する。

[各課]

1 健康課

(1) オアシス篠栗レストランスペースオフィス化改修工事

オアシス福祉ゾーンのレストランスペースについて、篠栗町の利便性とコロナ禍におけるサテライトオフィス事業の需要増を鑑み、貸館事業の充実へと変換を図ることとし、オフィスとしての使用に改修工事を行ったものである。

増額変更は地下倉庫の配管撤去工事分だが、設計時に入念な事前調査を行うよう努められたい。令和3年10月以降、オアシス篠栗がコロナウイルスワクチン接種の集団接種会場として開設されており、現在のところの臨時的な使用対応となっている。

今後、接種の進捗状況も鑑みて、本来の事業目的にそった活用が早期に実現できるように、公募等による入居者決定に向けた手続きに鋭意取り組まれたい。

オアシス篠栗レストランスペースオフィス化改修工事	
請負業者	毛利建設(株)
発注方式	6者指名プロポーザル方式随意契約
契約額(最終)	40,106,000円
契約額(当初)	38,225,000円
落札率	86.3%
概要	オアシス篠栗レストランスペースオフィス化改修工事

意見

篠栗北地区産業団地進出企業の関連会社オフィス(リモート使用)への貸出や、分割しての貸出等も検討されてはいかかかと思う。

2 社会教育課

(1) クリエイト篠栗トイレ手洗い自動水栓取付工事

ホール棟及び研修棟（図書館含む）の既存のプッシュ式手洗い水栓について、不特定多数のものが利用している状況から接触による感染拡大の懸念があったため、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の一環として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、クリエイト篠栗内のトイレ手洗い場に設置している37基の手洗い水栓を自動水栓へ取り換え工事を実施した。自動水栓化することによる接触感染を防ぐとともに、プッシュ式の水量調整ができなかったことに対して、自動化による水量調整が可能となったため、今後の水道料軽減にもつながると思われる。

また、各水洗はすでに通電していたので、電気工事不要のため低価格で工事完了できた。

クリエイト篠栗トイレ手洗い自動水栓取付工事	
請負業者	(有)朝日水工業
発注方式	4者指名競争入札
契約額（最終）	3,080,000円
契約額（当初）	3,080,000円
落札率	96.6%
概要	自動水栓取替 37箇所

(2) カブトの森公園LED化工事（テニスコート）

水銀汚染防止に向けた国際的な規制（「水銀に関する水俣条約」が、国連環境計画の外交会議で採択・署名）により、2021年以降、水銀ランプの製造・輸出入が禁止されること。また、消費電力の節電、光源の長寿命化の点からLED照明に交換した。

消費電力1,000Wの灯具から500Wの灯具に交換したことにより、長寿命化につながると思われる。また、水銀灯と比較すると4～5倍と長寿命で、電気料金も従来の3分の1程度になる見込みである。さらに照明に集まる虫も少なく利用者から好評である。

照明を取り付けているポールが低く、非常にまぶしいとの利用者の声があるので、照明の角度調整等の工夫をされたい。

カブトの森公園LED化工事（テニスコート）	
請負業者	大洋電気㈱
発注方式	4者指名競争入札
契約額（最終）	23,067,000円
契約額（当初）	23,067,000円
落札率	88.1%
概要	既設器具撤去 36個 新設LED設置（既設ポール流用） 36個

3 都市整備課

(1) 和田線道路改良工事

車両の通行量が多い町道和田線に歩道設置等の改良を行うため、平成30年度から歩道を整備する事業で、整備費は30年度12,153千円 令和元年度13,100千円 令和2年度14,413千円 令和3年度12,321千円 令和4年度予算13,101千円と長期の整備事業となっており、まだ完成には2～3年を要する見込みであるが、歩道設置を目的とし、歩行者の生命、安全を守る整備事業であり、早期の完成に努められたい。

和田線道路改良工事	
請負業者	(株)城戸組
発注方式	6社指名競争入札
契約額(最終)	12,321,100円
契約額(当初)	10,120,000円
落札率	96.9%
概要	モルタル吹付 438.1㎡ 舗装工 114.0㎡

(2) 和田地区14号線側溝整備工事

和田団地開発当時に設置された側溝の老朽化による破損や排水不良を補修・再整備し、安全な道路環境を持続させるための事業で、まだ、未整備箇所が残っているので早期の完成を進められたい。

道路の補修、側溝整備等については、継続的な取り組みが必要となるので、明確な基準に基づき計画的に毎年度の予算執行を図られたい。

和田地区14号線側溝整備工事	
請負業者	(株)洪本建設
発注方式	6社指名競争入札
契約額(最終)	10,154,100円
契約額(当初)	9,350,000円
落札率	97.1%
概要	管渠型側溝 L=152.5m 管渠型側溝 (GB) L=28.0m

(3) 篠栗町内道路舗装補修工事

和田線外10か所の町道の舗装が破損や傷んだ箇所では行政区からの要望及び道路管理上危険な箇所の舗装補修事業であり、安全確保のため補修効果が大いにあると考える。

道路の補修、側溝整備等については、継続的な取り組みが必要となるので、明確な基準に基づき計画的に毎年度の予算執行を図られたい。

篠栗町内道路舗装補修工事	
請負業者	(株)INOUEコーポレーション
発注方式	5社指名競争入札
契約額(最終)	14,446,300円
契約額(当初)	14,025,000円
落札率	95.1%
概要	アスファルト舗装工 2441㎡

4 上下水道課

(1) 尾仲大柳地区配水管布設替工事

本工事は老朽化による配水管布設替工事である。対応年数40年に対し、当該地域の配水管は、経過年数45年であり、各所に漏水で修理の箇所が見受けられる。さらに、近接するJRの迷走電流の影響を受け、管の腐食が見受けられた。

今回の工事で、新しく耐震性のある管種に更新し、防食スリーブを施工すること、電流の影響も出ないように工夫されている。

今後も町内に張り巡らされた約110kmの水道管について、計画的な更新工事を行うよう努められたい。

漏水率は全国平均6%だが、篠栗町は2%と低く評価する。

尾仲大柳地区配水管布設替工事	
請負業者	(株)尾畑建設 糟屋支店
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	27,425,200円
契約額(当初)	27,610,000円
落札率	98.5%
概要	配水管 DCIP-GX φ75 L=225.7m 配水管 PE φ50 L=91.4m 給水管引込 N=31箇所

(2) 城戸配水池通信設備更新工事

本工事は城戸配水池における通信設備更新工事である。既設の通信設備の不具合が頻繁に発生し、その都度24時間体制で、職員にて対応せざるを得ない状況にあった。

今回の工事で、新しく電柱から通信設備更新を行い、地元とも打合せを入念に行い、景観に配慮した資機材を選択し、工夫された工事を完了しているのは評価できる。

今後も、老朽化が進む水道施設について、メンテナンスをしっかりと行い、更新計画を立案し、効率的に更新していくことが求められる。

城戸配水池通信設備更新工事	
請負業者	隔測計装(株)
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	8,019,000円
契約額(当初)	8,019,000円
落札率	87.7%
概要	引込開閉器盤 1面 計装テレメータ盤 1面 配水池水位計 1式 IP通信装置 1式 中央監視盤機能増設 1式 監視装置機能増設 1式

(3) 第1浄水場自家用発電機更新工事

第1浄水場は昭和48年(1973年)に施工され、当該施設内にある自家用発電機は昭和48年(1973年)に設置されている。耐用年数24年のところメンテナンスや日常点検をまめに行うことで長寿命化に配慮してきており、46年間と長きにわたり使用することができ、結果的に経費節減につながってきた。しかし近年、不具合が生じ始めており、修理部品も老朽化のため調達できない状況になってきている。

今回の更新工事により、発電機は従来の水冷式から空冷式に変更し静音となり、今後の緊急事態等の大規模停電に備えた設備となっている。

全般的に施設、他の機器の老朽化が進んでおり、今後もこまめに点検を実施し長期使用に努められたい。

更に大規模ではあるが浄水場本体の、移転、新築を含めた総合的な計画が求められる。

第1浄水場自家用発電機更新工事	
請負業者	隔測計装(株)
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	46,288,000円
契約額(当初)	46,288,000円
落札率	88.9%
概要	非常用発電機 屋内キュービクル形 150KVA 1基 構内配線工 1式 室内動力配線工 1式 室内電灯配線工 1式 構内配線撤去工 1式 仮設発電機設置撤去工 1基

(4) 第1浄水場I系着水流入電動弁更新工事

第1浄水場は昭和48年(1973年)に施工され、当該施設内にあるI系着水流入電動弁は平成10年(1998年)に設置されている。鳴淵ダムからの受水量を調整する重要な電動弁である。耐用年数18年のところメンテナンスや日常点検をこまめに行うことで長寿命化に配慮してきており、23年間使用することができている。大きな不具合等は発生していないが、修理部品も機器型が古く調達できない状況になってきている。

今回の更新工事により、電動弁は更新されたが、全般的に施設、他の機器の老朽化が進んでおり、その他の施設についても、早急な更新が必要と考える。

第1浄水場I系着水流入電動弁更新工事	
請負業者	(株)アイワ 福岡営業所
発注方式	4者指名競争入札
契約額(最終)	3,083,300円
契約額(当初)	3,083,300円
落札率	88.1%
概要	電動仕切弁撤去 N=1基 電動仕切弁据付 N=1基

意見

老朽化が進んでいる水道施設等の更新について、職員一丸となって創意工夫し、計画を立案等行っていることには評価できる。今後も、【浄水場の更新計画】・【水道施設の更新計画】・【水道管の更新計画】のバランスをとりながら、緊急性・重要度等により優先順位を決定し、継続して事業を行っていけるよう、体制の強化に取り組まれない。

5 福祉課

(1) 天空会館空調設備更新工事

天空会館は竣工から19年が過ぎ、空調設備が老朽化していること、修理保全の部品の生産がないことから、4系統の空調設備のうち、令和2年度に2系統、3年度に残り2系統の空調設備更新工事を行った。更新工事費は令和2年、3年度計31,530千円を要している。

旧系統がガスのため、新たに電気系統に変更すると高額になるので、将来の天空会館のあり方も念頭に置き安価にできるガス系統とした。

天空会館空調設備更新工事	
請負業者	(株)西日本空調システム
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	15,290,000円
契約額(当初)	15,290,000円
落札率	97.0%
概要	空調設備更新工事 ガスヒートポンプ空調機(室外機2台 室内機6台) 配管工事 付帯設備工事 撤去工事等

意見

施設全般に屋根の塗装劣化等修繕の必要なところが多く散見される。

今後多額の修繕費が予想されるので、施設の今後の利活用を十分考察し、予算の効率的な執行、併せて運営形態を含めた天空会館のあり方を検討されたい。

6 産業観光課

(1) 小葉山線林道災害復旧工事

令和2年度の8月豪雨で被災した林道の復旧工事である。激甚災害により工事費の9割以上が補助となっている。県より引き渡し直後に被災していることから、今後の改善が望まれる。また、引き続き災害発生時には早期の対応、着工に努められたい。

小葉山線林道災害復旧工事	
請負業者	(株) 廣田建設
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	12,058,200円
契約額(当初)	12,100,000円
落札率	97.3%
概要	法面保護工

(2) 小葉山線林道改良工事

小葉山線林道災害復旧工事の付帯工事である。県単林道事業補助(40%)を受け復旧工事をおこなっている。今後も災害発生時には早期の対応、着工に努められたい。

小葉山線林道改良工事	
請負業者	(株) 廣田建設
発注方式	随意契約
契約額(最終)	4,842,200円
契約額(当初)	4,191,000円
落札率	99.5%
概要	法面保護工 伐採 水路工 かご工法面保護工

(3) 和田地区井堰改良工事

大西地区井堰は自動転倒へ改良する工事である。大西当該地区は学校が近く、通学路であるため、安全性の確保をするための工事であり十分に評価できる。また、東浦地区においては老朽化のため塗装等を行う工事であり、町内に存する他の井堰についても、長寿命化を図り計画的に更新工事の実施を進められたい。

和田地区井堰改良工事	
請負業者	(株) オーツボ
発注方式	5者指名競争入札
契約額(最終)	10,208,000円
契約額(当初)	10,208,000円
落札率	96.5%
概要	銅製堰堤本体工 扉体整備工

7 学校教育課

(1) 篠栗小学校 屋上防水改修工事

篠栗小学校は昭和55年3月に建設後、42年経過し、近年では屋上からの雨漏りが発生し、教育現場に支障をきたしていた。3階教室には多数のシミが発生しており、屋上の既存防水層は全面的に膨れ、劣化及び破断も発生しているため、改修工事を行なった。

篠栗小学校 屋上防水改修工事	
請負業者	日建工材(株)
発注方式	5社指名競争入札
契約額(最終)	22,833,360円
契約額(当初)	22,833,360円
落札率	90.0%
概要	防水工

意見

今回工事が行われた屋上は、傾斜がほとんどないフラットな形状の陸屋根のため、雨水が溜まりやすくなる。このため、排水溝の掃除、防水塗装及び防水シートのメンテナンス等を定期的実施する必要があると思われるので留意されたい。

(2) 篠栗小学校 水栓自動化工事

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、手洗い場やトイレの手洗い等78箇所の蛇口を既存の手動のものからセンサーで作動する自動水栓に取り換えるものである。

しかし、衛生面からは自動水栓と自動泡石鹸が一体化したものが良かったのではないかと思われる。

篠栗小学校 水栓自動化工事	
請負業者	東工業(株)
発注方式	5社指名競争入札
契約額(最終)	9,240,000円
契約額(当初)	9,240,000円
落札率	97.8%
概要	水栓自動化工事 78個

(3) 篠栗中学校 体育館アリーナ照明LED化工事

体育館の水銀灯に不点灯箇所（24箇所中4箇所不点灯）があり同様の水銀灯交換では、消費電力の大きさ、演色性の悪さ、製品自体が高額などのデメリットや、2020年に環境保全を保護する目的で発効された「水俣条約」により、水銀灯の生産が大幅に減少し、製品の購入が非常に困難となり維持管理に不安が残っていたため、省電力、長寿命、演色性の良さを兼ね備えたLED照明に全て交換するものである。

非常に明るく水銀灯と比較すると4～5倍と長寿命化で、電気料金も相当程度の安価になる見込みである。このため他の施設もLED化を検討されたい。

篠栗中学校 体育館アリーナ照明 LED 化工事	
請 負 業 者	高瀬電気商会
発 注 方 式	4者指名競争入札
契約額（最終）	3,865,400円
契約額（当初）	3,865,400円
落 札 率	92.1%
概 要	照明工事 36個